

小学4年生 パフォーマンステスト事例

Unit7 What do you want?

パフォーマンステスト

場面設定 友達のためにオリジナルピザを作ります。友達に質問をしてほしい具材を確認しながらピザを完成させなさい。

- 実施方法**
- 友達とペアになり、一人が「店員(作る人)」、もう一人が「客(頼む人)」という役割でやり取りを行う。
 - タブレット等のWEB教材画面上で、具材(野菜や果物など)を配置してピザを完成させる。
 - 「What do you want?」と尋ね、相手が「I want onions, please.」などと答える。
 - 最後に「Here you are.」と言ってピザを渡す動作を含める。

児童の対話例 S1 (店員/作る人): 友達の注文を聞き、タブレット等で具材を配置する。
S2 (客/頼む人): 自分のほしい具材を伝える。

S1 : Hello! Let's make your pizza. (挨拶と導入)
S2 : Hello!
S1 : What do you want?, (具材を尋ねる)
S2 : I want tomatoes and corn, please. (具材を答える)
S1 : OK. Tomatoes and corn. (具材を置きながら) How many tomatoes?
S2 : Three, please.
S1 : One, two, three. OK! Do you like onions?
S2 : Yes, I do. / No, I don't. (好みを答える)
S1 : (ピザが完成して) This is your pizza. Here you are!
S2 : Wow! Thank you!

◎見取るポイント
知識・技能→下線部
思考・判断・表現→太字

単元目標

目標	友達の希望に沿ったピザを作るために、相手の欲しい食材や自分がほしい食材について、質問したり質問に答えたりすることができる。	
評価規準(話すこと「やり取り」)	知識・技能	友達の希望に沿ったピザを作るために、相手の欲しい食材や自分がほしい食材について、質問したり質問に答えたりすることができる。
	思考・判断・表現	友達にオリジナルピザを作るために、相手に伝わるように工夫しながらほしい食材などについて質問したり、質問に答えたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	友達にオリジナルピザを作るために、相手に伝わるように工夫しながらほしい食材などについて質問したり、質問に答えたりしようとしている。

評価基準(予想される児童の姿)

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ● 挨拶, 感謝, 簡単な指示をしたり, それらに応じたりすることに慣れ親しんでいる。 ● オリジナルピザを作るために欲しいものについて質問したり質問に答えたりすることに慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ● ほしい具材について伝え合う相手と挨拶, 感謝, 簡単な指示をしたり, それらに応じたりしている。 ● オリジナルピザを作るために欲しいものについて質問したり質問に答えたりしている。 ● 自分の考えや気持ちなどを相手に理解してもらったり, したりするために, ゆっくり話したり, 繰り返したり, また動作を交えたりするなどの工夫を行って伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ● オリジナルピザを作るために欲しいものについて質問したり質問に答えたりしようとしている。 ● 自分の考えや気持ちなどを相手に理解してもらったり, したりするために, ゆっくり話したり, 繰り返したり, また動作を交えたりするなどの工夫をして伝えようとしている。

外国語活動におけるパフォーマンステストについて
外国語活動は、「1単元で必ずしも全児童について記録に残す必要はなく、1年間を通して全児童について各観点で各領域においてバランスよく記録に残すことが大切である。こうして蓄積した各児童についての記録を基に、指導要録に文章で児童の様子を記載する。」
(「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校外国語・外国語活動より)

小学校5年生 パフォーマンステスト事例

Lesson5 Where is the station?

パフォーマンステスト

場面設定 ALTの先生にあなたのお気に入りの場所を伝え、その理由(なぜ好きなのか、そこで何ができるのか)とそこまでの行き方を説明しなさい。

- 実施方法**
- 挨拶の後、教師の「What is your favorite place?」に対し、お気に入りの場所とその理由を話す。
 - 地図上で現在地を確認し、目的地までの道順を説明する。
 - 「Thank you.」「You're welcome.」のやり取りで終了する。

児童の対話例

T : What is your favorite place?
 S : **My favorite place is the library.**
 T : Why?
 S : I like manga.
 T : That's nice! Where is the library?
 S : **Go straight for two blocks. Turn right. You can see it on your right.**
 T : Thank you.
 S : You're welcome.

◎見取るポイント
 知識・技能→下線部
 思考・判断・表現→太字

- (テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)
- 教科書のマイタウンのお気に入りの場所についてペアで紹介し合う活動。
 - 自分の町のお気に入りの場所についてペアで紹介し合う活動。
 - 教科書の地図だけでなく、地域の地図を準備することで、児童の紹介したいという意欲をより高めることなどが考えられる。
 - ビデオで記録に残して評価する方法が考えられるが、役割分担や撮影方法の指導に時間を要することなどが考えられる。

単元目標

目標	相手のことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について道順など具体的な情報を聞き取ったり、互いのことをよく知るために、道順やお気に入りの理由などを伝え合ったりすることができる。	
	知識・技能	(知識) Where is ~?や道案内、位置を表す表現等について理解している。 (技能) お気に入りの場所について、主な言語材料を用いて道順を伝え合う技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを伝え合おうとしている。	

評価基準(ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現
a 十分満足	既習表現を正しく用いて、お気に入りの場所や道順を相手の状況を確認しながら伝え合っている。	互いのことをよく知るために、相手に進んで質問したり反応したりして、 お気に入りの場所や理由を伝え合ったり 、相手がよくわかるように道順などを示したり情報を加えたりして正しく道案内をしたりしている。
b おおむね満足	言いよどみや表現の一部に誤りはあるが、既習表現を用いてお気に入りの場所や道順を伝え合っている。	互いのことをよく知るために、お気に入りの場所や理由を伝え合ったり、道順などを示して道案内をしたりしている。
c 努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

小学校5年生 パフォーマンステスト事例

Lesson6 What would you like?

パフォーマンステスト

場面設定

あなたはレストランにお客さんとして来ました。店員さんとやり取りをして、自分が食べたい料理や飲み物を丁寧な言い方で注文し、値段を確認して支払いをしましょう。

実施方法

- 「店員」と「客」の役割を交代しながら、すべての児童が両方の立場を経験するようにする。
- 店員がメニューを渡し、「What would you like?」と注文を取る。
- 客は「I would like ○○, please.」と注文し、合計金額(How much is it?)を尋ねる。
- 店員は金額を伝え、商品を渡す動作を行う。

児童の対話例

S1 (店員):メニューを渡し、注文を取り、値段を伝える。
S2 (客):メニューを見て注文し、代金を払う。

S1 : Hello! Welcome to my restaurant.
S2 : Hello!
S1 : (メニューを渡しながら) **What would you like?**
S2 : (メニューを指さしながら) **I would like a hamburger and orange juice, please. I'm very hungry!**
S1 : OK. A hamburger and orange juice. Anything else?
S2 : No, thank you. **How much is it?**
S1 : **It's 650 yen.**
S2 : (お金を渡すジェスチャーで) Here you are.
S1 Thank you. (料理を出すふりをして) Here is your hamburger.
S2 Thank you.

◎見取るポイント
知識・技能→下線部
思考・判断・表現→太字

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- 世界のフードフェスティバルで注文したい料理や理由、値段などについて伝え合う活動。
- 家族や友達など、身近な人のためにランチメニューを考えて伝え合う活動。
- 1人ひとりを教師が対面で評価すると時間がかかるため、3人1組のグループやクラス分割などによりビデオ撮影を活用する方法などが考えらる。

単元目標

目標	レストランなどで注文するという目的に応じて、料理やその値段、味などについて、具体的な情報を聞き取ったり、丁寧な言い方で伝え合ったりすることができる。		
	知識・技能	(知識)	買い物で使われる表現やHow much ~?などの言語材料について理解している。
		(技能)	料理やその値段、味などについて、主な言語材料を用いて、丁寧な言い方で伝え合う技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	レストランなどで注文するために、役割に応じて、料理やその値段、味などについて、丁寧な言い方で伝え合っている。	
主体的に学習に取り組む態度	レストランなどで注文するために、役割に応じて、料理やその値段、味などについて、丁寧な言い方で伝え合おうとしている。		

評価基準(ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現	
a	十分満足	注文や支払いをするための表現を正しく用いて、買い(売り)たい商品や代金について伝え合っている。	レストランで注文をする(とる)ために、メニューを指さしたり感想を述べたりして相手にわかりやすく工夫しながら料理や値段、味などについて尋ねたり、説明したりしている。
b	おおむね満足	一部の誤りはあるが、注文や支払いをするための表現を正しく用いて、買い(売り)たい商品や代金について伝え合っている。	レストランで注文をする(とる)ために料理や値段、味などについて尋ねたり、説明したりしている。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

小学校6年生 パフォーマンステスト事例 Lesson5 Where do you want to go?【インタビュー】

パフォーマンステスト

場面設定

自分が行きたい国についてインタビューをします。先生からの質問(Why?など)に答えてください。自分の気持ちを伝えることや相手に質問することにも挑戦してみましょう。

実施方法

- 児童1人に対し、ALTまたは学級担任が1対1で対面して実施する。
- 教師は評価シートを手元に置き、児童の表現の適切さを評価する。
※表現の適切さ:表現の正確さ、発音、応答の適切さ、内容の豊かさなど
- テスト終了後、評価シートを児童に渡し、よかった点やアドバイスをフィードバックする。

児童と教師の対話例

T(教師) S(児童)

T: Hi, Haruhi. Where do you want to go?
 S: Hello. **I want to go to Italy.**
 T: Why do you want to go there?
 S: **I want to see the beautiful sea.** It's very beautiful!
 T: That's nice! What do you want to do there?
 S: **I want to swim with tropical fish.** How about you?
 T: I want to go to Hawaii. I want to swim with fish, too.
 S: Nice!
 T: Thank you, Haruhi. You did a good job today.

◎見取るポイント
 知識・技能→下線部
 思考・判断・表現→太字

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- ペアで行きたい国クイズを出し合う活動。
- テストや評価の方法等を単元のはじめに提示することで児童が見通しをもって学習に取り組むことなどが期待できる。
- 評価について、条件を2つ満たしていればb,3つ満たしていればaとすることなどが考えられる。
 例)条件1:行きたい国について表現している。
 条件2:内容(Lesson5で学習したことなど)
 条件3:自分の考えや気持ち、相手への質問等をしている。

単元目標

目標	相手のことをよく知るために、行きたい国とその理由について、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたり、互いのことをよく知るために、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。	
	知識・技能	(知識) 主な言語材料(Where do you want to go?, I want to see ~等)について理解している。 (技能) 行きたい国とそこでしたいことなどについて、主な言語材料を用いて質問したり、質問に答えたりして伝え合う技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	互いのことをよく知るために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて、質問したり、質問に答えたりして伝え合っている。
	主体的に学習に取り組む態度	互いのことをよく知るために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて、質問したり、質問に答えたりして伝え合おうとしている。

評価基準(ルーブリック)

	評価	知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	既習表現を正しく用いて、行きたい国とそこでしたいことなどについて話したり質問したりしている。	自分の行きたい国について知ってもらうために、行きたい国やその理由(そこでしたいことやできること)について、自分の考えや関連する質問などを交えながら答えている。
b	おおむね満足	言いよどむ場面や表現の間違いが一部見られるものの、行きたい国とそこでしたいことなどについて話したり質問したりしている。	自分の行きたい国について知ってもらうために、行きたい国やその理由(そこでしたいことやできること)について質問に答えている。
c	努力を要する	bに達していない。	bに達していない。

小学校6年生 パフォーマンステスト事例 Lesson5 Where do you want to go?【クイズ】

パフォーマンステスト

場面設定 友達や先生(ALT)と2人1組になり、行きたい国についてクイズを出しましょう。1回で正解することができなかつた場合は、ヒントを加えたり、出題者に質問をすることができます。

- 実施方法**
- 児童と先生(ALTや担任)、または児童同士の2人1組で行う。
 - 出題者が「行きたい国」に関するヒント(食べ物、有名な場所、そこでできることなど)を3つ程度出す。
 - 回答者が国名を推測して答える。
 - 1回で正解できなかつた場合、出題者は新しいヒントを付け加えたり、回答者は出題者に質問をしたりして、正解を導き出す。

児童の対話例 S1(回答者) S2(出題者)

S1 : Where do you want to go?
 S2 : Please guess. I want to eat ice cream. I want to buy a beautiful bag. You can see the World Heritage sites.
 S1 : Question. Do you like pizza?
 S2 : Yes, I do.
 S1 : Oh, you want to go to Italy?
 S2 : That's right. It's a very beautiful country.

◎見取るポイント
 知識・技能→下線部
 思考・判断・表現→太字

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- 国名とそこでできること、様子のカードを使って「マッチング・ゲーム」を行う活動。
- 行きたい国クイズのために、話す内容を整理してペアで伝え合う活動。
- 1対1でのやり取りへの心理的不安を低減するために、クイズをグループで行ったり、安心できるペアから活動を始めたりすることも考えられる。
- S2が「How about you? Where do you want to go?」と言って役割を交換して対話を継続する方法なども考えられる。

単元目標

目標	相手のことをよく知るために、行きたい国とその理由について、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたり、互いのことをよく知るために、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。	
	知識・技能	(知識) 主な言語材料(Where do you want to go?, I want to see ~等)について理解している。
		(技能) 行きたい国とそこでしたいことなどについて、主な言語材料を用いて質問したり、質問に答えたりして伝え合う技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	互いのことをよく知るために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて、質問したり、質問に答えたりして伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	互いのことをよく知るために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて、質問したり、質問に答えたりして伝え合おうとしている。	

評価基準(ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現
a	十分満足	既習表現を正しく用いて、行きたい国とそこでしたいことなどについて話したり質問したりしている。
b	おおむね満足	互いの行きたい国について知るために、相手の状況を見ながら自分の考えを加えてそこでしたいことやできることを伝えたり、質問したりしている。
c	努力を要する	bに達していない。

小学校6年生 パフォーマンステスト事例 Lesson5 Where do you want to go?【プレゼン】

パフォーマンステスト

場面設定

ALTの先生やクラスの友達が「行ってみたい！」と思うようなツアープランを考えて発表しましょう。写真やイラストを使いながら、その国の魅力を伝えてください。全員の発表が終わった後、どのプランが一番人気か「ツアープラン投票」を行います。

実施方法

- 児童が一人ずつ、またはグループごとに、考えてきたツアープランを発表する(行きたい国、そこで見たいもの、食べたいものなど)。
- クラス全員のツアープランを聞き、他の友達がどのような国の魅力を紹介しているか、情報を聞き取りながら参加する。
- すべての発表が終わった後、どのツアープランが最も魅力的で「行きたくなかったか」を基準に、人気投票を行う。

児童の発表例

(スライドを示しながら)

I want to go to France.

I want to visit the Eiffel Tower.

It's big and beautiful.

Do you like sweets?

You can eat Macaron. It's 300 yen.

It's cute and sweet.

Let's go to France.

◎見取るポイント
知識・技能→下線部
思考・判断・表現→太字

(テストに向けた言語活動及びテスト実施上の留意点など)

- 国名とそこでできること、様子のカードを使って「マッチング・ゲーム」を行う活動。
- ペアで行きたい国クイズを出し合う活動。
- 児童個々の負担に応じて、行きたい国ごとにグループを組んで発表の準備を行うことなども考えられる。
- 児童が使うスライドはあらかじめひとつのファイルにまとめておくなど、表示の切り替えによる時間を削減する。

単元目標

目標	相手のことをよく知るために、行きたい国とその理由について、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたり、自分の行きたい国の魅力を紹介したりすることができる。	
評価規準(話すこと「発表」)	知識・技能	(知識) 主な言語材料(Where do you want to go?, I want to see ~等)について理解している。 (技能) 行きたい国とそこでしたいことなどについて、主な言語材料を用いて紹介する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	互いのことをよく知るために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	互いのことをよく知るために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて伝えようとしている。	

評価基準(ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現
a 十分満足	既習表現を正しく用いて、行きたい国とそこでしたいことなどについて話している。	自分が行きたい国の魅力を知ってもらうために、行きたい国やその理由(そこでしたいことやできること)について、相手の状況を見ながら自分の考えや関連する質問を加えて紹介している。
b おおむね満足	言いよどむ場面や表現の間違いが一部見られるものの、行きたい国とそこでしたいことなどについて話している。	自分が行きたい国の魅力を知ってもらうために、行きたい国やその理由(そこでしたいことやできること)について紹介している。
c 努力を要する	bに達していない。	bに達していない。